

## 2023 年度第 5 回日本技術士会埼玉県支部役員会議事録

日時	2023 年 10 月 07 日（土）09:30～12:05		
場所	武蔵浦和コミュニティセンター 第3集会室		
役員 (敬称 略)	出席者（五十音順 □出席、◇委任状出席、◆欠席）総数：25 名（内出席：20 名、委任状提出者 5 名） □石田正雄 □出森公人 □黒澤兵夫 □小柳直昭 □近藤訓 □近藤孝 □佐藤佳則 ◇穴戸富雄 □白岩信裕 □菅原宏 ◇高橋正人 □中田よしみ □荻本信一 ◇浜端英男 □長谷川俊一 □速川敦彦 □平松達生 ◇伏見隆夫 □藤田賢二 □増古恒夫 □松本良一 □村山肇 ◇山田敏広 □横山正巳 □若林直樹		
配布資料	資料 1	2023 年度第 4 回日本技術士会埼玉県支部役員会議事録	P 1～3
	資料 2	委員会委員の異動の件	4, 5
	資料 3	埼玉県支部の情報管理者、CMS 承認者、CPD 行事登録者の更新	6
	資料 4	災害時安否確認及び対策マニュアルの件	7, 8
	資料 5	埼玉産業人クラブへの支部としての加入の件	9～11
	資料 6	公共放送を活用した技術士会の知名度向上と防災支援活動の推進	12, 13
	資料 7	埼玉県支部紹介動画制作の件	14, 15
	資料 8	2023 年度 9 月次会計収支について	16～21
	資料 9	2023 年度 公益社団法人日本技術士会埼玉県支部 収支[9 月次]	22
	資料 10	科学技術振興委員会報告	23
	資料 11	地域産業支援委員会活動報告	24～26
	資料 12	地域活性化委員会報告	27
	資料 13	総務企画委員会の活動報告	28, 29
	資料 14	CPD 委員会報告	30～32
	資料 15	「後援名義使用の依頼」及び「後援名義使用許諾」について	33, 34
	資料 16	第 6 回関東甲信県支部防災連絡会議参加報告	35, 36
	資料 17	「次の 10 年間の支部活動を考える」まとめ	37
<b>議題</b>			
<p>(1) 出席者および委任状提出者の確認（白岩委員長） 役員会は出席 20 名、欠席 5 名（内委任状出席 5 名）で、成立することを確認した。</p> <p>(2) 議事録署名人と議事録作成者の確認（白岩委員長） 議事録署名人を白岩信裕幹事、菅原宏幹事、議事録作成者を出森公人幹事とすることが承認された。</p> <p>(3) 前回議事録の確認【資料 1】（白岩委員長） 2023 年度第 4 回埼玉県支部役員会議事録は、すでに役員間でメール審議を実施している。特に異論はなく承認を確認した。</p> <p>(4) 新支部長挨拶と活動報告（石田支部長） 1) 埼玉産業人クラブに従来の個人ベースではなく埼玉県支部として加入し直す。詳細は審議事項で説明する。 2) 金属部会 CPD 講演会（2024 年 2 月 5 日）で近藤副支部長に埼玉県支部活動を講演頂く。 3) 月刊技術士 10 月号に松本幹事の活動が掲載された。これは本部との連携、防災支援活動、広報活動の強化に効果があると考えている。</p> <p>(5) 審議事項 1) 委員会委員の異動の件【資料 2】（白岩委員長） 地域活性化委員会、CPD 委員会、総務企画委員会の委員の異動があり、承認された。 2) 埼玉県支部情報管理者、CPD 行事登録者、CMS 承認者の更新の件【資料 3】（白岩委員長） 支部役員改選に伴う情報管理者、CPD 行事登録者、CMS 承認者の登録変更が承認された。 3) 埼玉県支部 災害時安否確認及び対策マニュアルの件【資料 4】（近藤副支部長） 内容を審議した結果、安否確認対象者を委員会で企画、開催中の委員とすることと対策チームの構成は全委員長とすること及び緊急事態の範囲を埼玉県に係るものとする事となった。マニュアルは修正し次回役員会に提出する。</p>			

4) 埼玉産業人クラブへの支部としての加入の件【資料5】(近藤副支部長)

埼玉県作業人クラブには今までの個人ベースではなく埼玉県支部として加入し直し組織的に活動をしていくことの説明がなされ、統括本部へ申請することが承認された。

5) 公共放送を活用した技術士会の知名度向上と防災支援活動の推進の件【資料6】(松本幹事)

2024年度に日本技術士会、埼玉県支部および防災支援活動(水害に対する)をFM放送「エフエムこしがや」を通して有償で紹介することが承認された。

6) 埼玉県支部紹介動画制作の件【資料7】(出森幹事)

埼玉県支部組織と支部支援技術を紹介する90秒のアニメーション制作について、制作会社とスケジュールおよび費用の説明がなされ、承認された。紹介動画は支部会員も使用できるよう本部広報委員会HPへの登録を依頼し、埼玉県支部HPからリンクをはって使えるようにする。

(6) 支部月次会計及び各委員会活動報告

1) 月次会計【資料8,9】(菅原会計幹事)

資料に基づき9月次会計収支とインボイス制度施行に伴う経理処理の変更点(立替金精算書、講演料等請求書兼振込口座連絡票、請求書、領収書等)の説明があった。

2) 科学技術振興委員会【資料10】(中田委員長)

資料に基づき、2024年3月16日(土)開催予定の理科教室について説明があった。この理科教室は科学技術振興委員だけでは運営上人手が足りないため出席役員に対し当日参加の要請がなされた。

活動報告については、今後は成果と課題を明示することで理解し易くする。

3) 地域産業支援委員会【資料11】(近藤孝委員長)

①防災支援活動として来年度の公共放送活用の提案と、立正大学におけるDIGの準備状況の説明があった。

②理研、VCADシステム研究会の活動状況と10月27日に開催予定の定例研究会の説明がなされた。

③彩の国ビジネスアリーナのオンライン展示には第5回役員会で制作承認された動画を展示する。来年1月のリアル展示は、募集した参加メンバーに展示会事務局発行の動画とマニュアルを10月下旬に紹介し11月に関係者で打合せを行う。

④彩の国産業活性化交流会は発表者5名が決まり、後援依頼の申請書を9機関へ送ったと説明があった。

⑤11月15日に春日部で開催される技術課題相談会は相談員4名を募集し、決定した。

4) 地域活性化委員会【資料12】(若林委員長)

① 北部地域小委員会(小柳小委員長)

\* 9月7日開催の見学会(日本キャタピラー社)は25名が参加し、ICT施工の最新技術の紹介を受けた。

\* 8月7日SAITEC北部研究所を近藤副支部長と往訪、技術支援要請の金型メーカーと面談した。

② 西部地域小委員会(近藤訓小委員長)

\* 9月28日の見学会(住田光学ガラス)には27名が参加した。同業他社1名の申込があったが見学先の了解がもらえたので参加できた。今後の見学会案内は「同業他社の参加不可」を明記し、会員外の参加可否を検討し見学先に承認を得たうえで参加者を募集する。

\* 11月11,12日のかわごえ産業フェスタ出展は4名が担当する。12月2日のCPD講演会は準備中。

③ 東部地域小委員会(平松小委員長)

\* 11月4日のCPD講演会「エフエムこしがや設立と防災活動」について講演者と調整を行った。開催案内は技術士会HP、県支部HPに掲載済みで、県支部一斉メールでも発信し参加者募集をおこなっている。

\* 9月27日に越谷商工会議所を訪問し、越谷商工会議所HPへCPD講演会案内の掲載を依頼した。

5) 総務企画委員会【資料13】(白岩委員長)

① 埼玉県支部代表メールの閲覧者の更新の説明がなされた。更新は10月から実施する。

② 広報関連:10月発行広報誌は1200冊印刷し支部会員に配布済み。役員会で制作承認された支部紹介動画は本年中に制作を終える。支部長挨拶、幹事名簿、支部リーフレットと2022年下期の未登録報告書は支部HPへの掲載が完了した。ただ掲載記事の差戻が増えているため、昨年12月の役員会説明資料「支部HPの体裁について」を各委員長経由で担当執筆者に配布してもらい注意事項を周知する。(出森幹事)

③ 支部関係機関に対し代表者変更の登録を行った。

6) CPD委員会【資料14】(菅原委員長)

CPD 行事計画の報告とインボイス制度対応に伴い改訂中の企画シート案の紹介があった。また、CPD の運営改善に向け4つのテーマのワーキンググループを委員会内に編成し活動をはじめたことの説明がなされた。

(7) 支部関係諸団体との折衝、関係会議への参加報告

1) 「後援名義使用の依頼」及び「後援名義使用許諾」について【資料15】(近藤孝委員長)

2023年11月24日(金)に開催する第10回彩の国産業活性化交流会の後援名義使用を9機関に依頼したことの報告があった。また、2023年12月2日(土)埼玉大学研究機構レジリエント社会研究センターが主催する令和5年度“彩の国”市民科学オープンフォーラム「災害に強いまちづくり」について、支部長決済で埼玉大学へ後援名義使用許諾を行ったことの報告がなされた。

2) 第6回関東甲信県支部防災連絡会議参加報告【資料16】(近藤孝委員長)

2023年9月1日(金)の連絡会議に石田支部長、近藤副支部長、松本幹事が出席し、支部長交代挨拶、支部全体の2023年4月～8月の活動報告、防災支援活動の説明が行われた。連絡会議の意見交換で統括本部と県支部との災害時連絡網作成の話がでたが、埼玉県支部の活動は本部が重視する発災時と発災後の対応ではなく発災前の啓発活動であり乖離が大きく連携が難しいことを説明し、統括本部のWG組織を発災前と発災時・発災後に分ける提案を行った。(松本幹事)

(8) 「次の10年間の支部活動を考える」に係る意見交換【資料17】(石田支部長)

幹事が提出した意見を集約し「次の10年を考える」「地域に対する貢献度」「広報活動」「防災支援活動」「支部活動の活性化」「その他」に分類した内容の説明がなされた。さらに支部長から、各委員長から担当委員会の委員にも意見を出してもらい幹事以外の意見も加えながら議論を継続していきたいと述べられた。

次回 会議	2023年度第6回日本技術士会埼玉県支部役員会 2023年12月9日(土)9:30~12:00 浦和コミュニティセンター 第14集会室
----------	------------------------------------------------------------------------